


■ワークショップの開催概要

日時	平成27年12月3日(木) 19:00~21:00	 会場全体
会場	村上市役所4階 大会議室	
参加者	14名	
目的	「村上市歴史的風致維持向上計画」の策定にあたり、地域住民の意向を反映すること。	
内容	説明：・ソフト面の取り組みの例 ・村上城下町の歴史的風致に関連する主な活動 グループ討議：歴史的風致の維持・向上のための取組内容の検討(ソフト面を中心に) 検討内容のまとめ：■取り組み提案の確認 ■意見交換	

■歴史的風致とは？

地域固有の歴史及び伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物及びその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地の環境のことです。

<村上城下町の主要な活動の例>

●祭礼行事



●鮭の文化



●職人の技術



●茶の文化



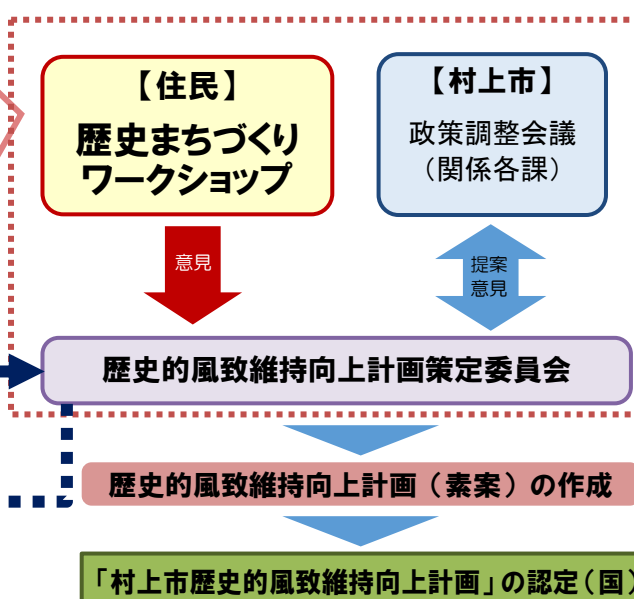
<歴史まちづくりワークショップの流れ>

第1回 (10/7)	●村上城下町の歴史的風致の確認 ●課題の抽出・整理 ●課題解決のための方向性の検討
第2回 (11/5)	●歴史的風致の維持向上のための取組や優先順位の検討 (ハード面を中心)
第3回 (12/3)	●取組提案の確認(検討内容のまとめ) (ソフト面を中心)

ワークショップ案の作成

今後、第2回策定委員会(1/7 予定)でワークショップ案を検討し、検討結果を報告いたします。

<計画策定の体制と流れ>



■グループ討議の結果の概要

要素	項目	内容
歴史的活動継承	村上まつりの維持・魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ●乗り子などまつりに参加する人が不足。町内単位から複数町内による運営も検討が必要ではないか。 ●19町内以外の子どもたちがお囃子やおしゃぎりを引く体験をすることが大事。 ●おしゃぎりの修繕費、まつりの運営費の確保が必須。 ●今年の村上まつり時に上町で作成して飾った「長提灯」を他町にも広げたい。 ●平時はおしゃぎりを川越のようにまちかど展示できないか。
	鮭文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ●鮭の歴史を学び、見て、食べるとより美味しい。漁師の後継者確保のためにも居繰り網漁の見学を充実させたい。(三面川舟下りなど) ●「鮭塩引き街道」の取り組みに小学生も巻き込みたい。 ●家庭での伝承を大事にしたい。(町家の土間は鮭の下処理に最適)
	職人の技の継承	<ul style="list-style-type: none"> ●中心部の空き家等に職人の店を集中させ、ものづくりを公開・展示できないか。 ●職業訓練校はあるが、職人として生計を立てられる人は少ない。祭りでする提灯などが全部市内で作成できるような補助・支援が必要。
	茶の文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ●まちなかの茶畑を残したい。 ●5月は新茶の時期なので、「城下町村上庭百景めぐり」でお茶会を開催できるとよい。
	六斎市の維持	<ul style="list-style-type: none"> ●六斎市は季節がわかる。観光客よりも地元の人とのコミュニケーションを重視したい。 ●空いた場所を若者のチャレンジショップとして、出店数を維持できないか。 ●地産地消の取組みとしての評価は勿論、新たな必要性・意義が必要。
	町並みの維持	<ul style="list-style-type: none"> ●新たに空き家を利用する人への支援が必要。⇒新たなまちの魅力につながる。 ●武家町・寺町からの意見が少ないので、団体を巻き込み、さらなる連携を強く望む。
	意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ●市外から来た人ばかりではなく、地元住民こそ積極的なイベント参加を求めたい。 ●まち歩き観光客に、おもてなしや歓迎の気持ちを醸成したい。 ●合併時に作成された村上のイメージソング「セタに」がまちなかで聞けるようにできないか。 ●川越のようにまちづくりの「規範」をまとめられないか。
観光振興	観光ガイドの育成	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学生の観光ガイドを継続したい。(親が子どもから村上の魅力学ぶことも多い) ●観光ガイドの活躍は重要。特に村上弁による語り部の育成が必要。方言を将来の子どものに残すことはまちづくりにとっても重要である。 ●ガイドのための教材の充実(テキスト・村上のいろはかるた等)に加え、子ども向けの村上観光検定を設けるべき。
	イベントの拡大、新しい観光案内	<ul style="list-style-type: none"> ●10月の「宵の竹灯籠まつり」をまち全体で開催してはどうか。 ●昔の地図と今の地図を重ねた観光パンフレットを作成すべき。 ●団体客へのガイドにイヤホンを使った音声ガイドを導入できないか。 ●スマホを活用した観光案内の導入を検討すべき。
ハード整備	魅力向上策、既存ストックの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ●十輪寺前、安善寺~十輪寺の参道に仲見世通りを整備すれば魅力が高まる。 ●居館跡の復元・整備も必要ではないか。 ●お城山への観光に、普段は空いている国道7号沿線施設の駐車場を活用できないか。

■グループ討議 歴史的風致の維持・向上のための取組の検討結果（主なご意見） ※第2回の検討結果に追記

凡例

追手門起点の周遊ルート	土屋敷
お城山へのアクセスルート	足軽長屋
村上城跡登城ルート	町屋敷
まいづる公園～庚申堂ルート	山林原野草地
出羽街道	道路
三国街道中通り	社寺
茶畑	河川・堀
◇ ソフト面の取組提案	畑地
◆ ハード面の取組提案	土塁



◇空き家・空き店舗でものづくりを公開・展示できないか。
◇職人として生計を立てられるような補助・支援が必要。



茶畑を大事にしたい



≪その他のご意見≫

- 【全体】◇歴史的活動を維持・継承するための人材の確保・育成が必要（まつりや鮭・茶の文化、職人技、六斎市等）
◇住民の意識を醸成していくような学習や啓発の取り組みをすべき
- 【意識啓発】◇川越のようにまちづくりの「規範」をまとめられないか。
◇ガイドのための教材等の充実や、子ども向け村上観光検定を設けるべき。
- 【観光振興】◇小中学生の観光ガイドを継続したい。（村上弁による語り部の育成が必要）
◇昔の地図と今の地図を重ねた観光パンフレットを作成すべき。
◇イヤホンを使った音声ガイドやスマホを活用した観光案内を導入すべき。
◇おしゃぎりをまちかどで展示してはどうか。



≪三面川≫
◇漁師の後継者確保のためにも、居繰り網漁の見学を充実させたい。（三面川舟下りなど）



◇「宵の竹灯籠まつり」をまち全体で開催できないか

◆仲見世通りを整備すれば魅力が高まる。

既存の町屋を保存し、核とした旧出羽街道の町並み整備

◆今年の村上まつりで、上町が作成・飾った長提灯を他町にも広げていきたい。



◇「庭百景めぐり」でお茶会を開催すべき。
◇武家町・寺町からの団体を巻き込み、さらなる連携を強く望む。

久保多町～小町の間は、できるだけ今の形を残す

まいづる公園と庚申堂を結ぶルート

◇「鮭塩引き街道」の取り組みに小学生も巻き込みたい。



≪鮭文化の継承≫
◇家庭での鮭調理方法の伝承を大事にしたい。

周遊の起点となる追手門の復元・追手門付近に駐車場を整備



≪六斎市≫
◇チャレンジショップとして出店数を維持できないか。
◇維持するために新たな位置づけが必要。

◆居館跡の復元・整備も必要ではないか。

大型車も入れる駐車場の整備

既存のブナ林、桜の活用

◇お城山への観光に、国道7号沿線施設の駐車場を活用できないか。

≪第2回ワークショップでのその他のご意見≫

- 【全体】◆駐車場が不足している。
◆原形を残していないものが多いため、「原形を残すこと」と「整備すること」の違いを認識した方がよい。
- 【武家町】◆建物の保全・復元よりも生け垣整備が適当である。
◆追手門から、武家町、城跡、町人町、寺町への展開を考えることが望ましい。（追手門は戦後まで武家町と町人町の行政界で、切磋琢磨してきた文化の境目）
- 【町人町】◇町家・小路の研究を進め、歴史的背景を伝えたい。